

事業者 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・スタッフ募集を続けています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
	8	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
適切な 支援の 提供	9	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	11	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	12	支援開始前・支援終了後は職員間で必ず話し合いをし、情報共有を行っているか		○		毎日の会議はできていない。隙間時間で話し合い・情報共有を行っている。
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	15	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連	16	学校との情報共有（年間計画・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整を適切に行っているか	○				
	17	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、該当ケースなし。	
	18	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				
	19	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				令和6年度から実施予定
	20	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	21	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	22	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	23	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	24	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	コロナウイルス感染症予防のためできていない
	25	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	26	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	27	個人情報に十分注意しているか	○				
	28	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				

	29	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
	30	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
非常時等の対応	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	同事業所の生活介護と一緒にしている。
	32	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	33	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	34	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、該当ケースなし。
	35	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			